

## 第1回東成区政会議 議事要旨

1. 日時：平成23年8月31日（水）13時00分～15時20分

2. 場所：東成区民センター 大ホール

3. 出席者

市田委員、上田委員、大垣委員、大西委員、岡倉委員、岡本（秀）委員、  
岡本（美）委員、小川委員、桑田委員、篠崎委員、清水委員、西野委員、  
深江委員、松下委員、宮田委員

4. 議事

(1) 委員長選出

(2) 東成区の防災について

5. 議事要旨

●委員長の互選 清水委員が互選により委員長に就任した。

●副委員長の指名 清水委員長が濱田委員を指名し、濱田委員が副委員長に就任した。

●東成区の防災について

区役所より「東成の防災～地域防災フォーラムを踏まえて～」(資料5)の説明を行い、続けて、委員からの意見をいただいた。

6. 報告

区役所よりそれぞれについて報告を行った。

●事業仕分け地域対象(東成区)事業判定結果について

●平成23年度東成区運営方針について

## 7. 防災についての主な意見

- ・ 中学校で防災フォーラムを行ったが、中学生の参加が少なかった。授業の一環として取り組めば、多くの参加者が得られるのではないか。
- ・ 企業との関係を大事にしてほしい。企業に勤める人の防災訓練も必要だ。金曜日の夕方4時ころからやってみてはどうか。
- ・ 9月4日の防災訓練の日は、こどものソフトボール・キックベースボールの日程と重なっている。事前に調整をするべきだ。
- ・ 防災フォーラムに来る人は意識の高い人だ。来ない人の意見こそ把握しなければいけない。
- ・ 課題はあるかもしれないが、避難場所となる学校のインターネット回線を有効に利用できないか。
- ・ 大雨の時も、各連合は防災無線のスイッチを入れておくべきだ。区からも要請してほしい。
- ・ 最近校下で、地域と連携して図上訓練を実施した。医師会は震災直後に医師が避難所に行けるように、真剣に検討している。それに比べ学校の先生の、訓練時の参加が少ないと思う。教職員の関わり方を検討してほしい。
- ・ フォーラムに子供を参加させようとするなら、お知らせの紙を配布するだけではだめだ。もっと汗を流して参加を求めるべきだ。
- ・ 震災対策に関心が高まっている今こそ、力を入れるべき時だ。動員や声がかかった人だけしか訓練に参加しないような状況ではいけない。
- ・ マンションには訓練の回覧も回って来ない。
- ・ 参加しない、出にくいのは個人の意識の問題だ。若い世代の意識をどのように向けるかが課題だ。
- ・ お誘いが来ないというが、区の広報紙には載っている。訓練を繰り返すことで、だんだんと覚えてくることも多い。意識を持って皆で参加していきましょう。
- ・ 高齢者など、学校まで行かれない人もいる。班単位で、近くの空き地で自炊するような訓練も大事だ。
- ・ 訓練は全員参加をめざすべきだ。町会長がダウンしたら他の人がやらなければならない。
- ・ 小中学生を参加させるには、先生ではなく PTA に働きかけるのが効果的だ。低学年でも学べるような内容にするべきだ。必ず親がついてくるから、親の意識も高まる。
- ・ 近所のある会社の社宅はあまり居住されていないようなので、災害時に避難所として提供してもらえよう、働きかけてもらえないか。